

研究協力をお願い

昭和医科大学では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

昭和医科大学における根治切除不能の尿路上皮癌に対する治療の検討														
1. 研究の対象および研究対象期間 2014 年から 2025 年までに昭和医科大学病院で根治切除不能の尿路上皮癌に対して薬物療法を施行した患者さん。														
2. 研究目的・方法 2024 年 9 月頃に本邦で根治切除不能な尿路上皮癌に対する 1 次治療としてペムブロリズマブ+エンホルツマブベドチンによる併用療法が承認されました。それを踏まえて当院における薬物療法の有効性・安全性を確認するために、患者さんの診療録を用いて調査を行います。														
3. 研究期間 昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2027 年 12 月 31 日まで														
4. 研究に用いる試料・情報の種類 患者背景（年齢、ECOG PS） 診断時の病期、病理組織および画像所見（尿細胞診、TNM 分類、組織型、内臓・リンパ節転移の有無） 前治療内容（BCG 療法後、膀胱全摘後、放射線治療後） 治療反応（Cre 低下率、画像的奏効率、治療期間、治療変更歴、副作用） 全生存期間（OS）および無増悪生存期間（PFS）														
5. 外部への試料・情報の提供 該当いたしません。														
6. 研究組織 <table><tr><td>研究責任者</td><td>昭和医科大学病院泌尿器科</td><td>押野見 和彦</td></tr><tr><td>研究分担者</td><td>昭和医科大学病院泌尿器科</td><td>深貝 隆志</td></tr><tr><td></td><td>昭和医科大学病院泌尿器科</td><td>永田 将一</td></tr><tr><td></td><td>昭和医科大学病院泌尿器科</td><td>中神 義弘</td></tr></table>			研究責任者	昭和医科大学病院泌尿器科	押野見 和彦	研究分担者	昭和医科大学病院泌尿器科	深貝 隆志		昭和医科大学病院泌尿器科	永田 将一		昭和医科大学病院泌尿器科	中神 義弘
研究責任者	昭和医科大学病院泌尿器科	押野見 和彦												
研究分担者	昭和医科大学病院泌尿器科	深貝 隆志												
	昭和医科大学病院泌尿器科	永田 将一												
	昭和医科大学病院泌尿器科	中神 義弘												

昭和医科大学病院泌尿器科	山岸 元基
昭和医科大学病院泌尿器科	井上 達貴
昭和医科大学病院泌尿器科	岡田 翔
昭和医科大学病院泌尿器科	黒川 聖容
昭和医科大学病院泌尿器科	麦田 稔貴
7. お問い合わせ先	
本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。	
照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：	
所属：	昭和医科大学医学部泌尿器科学講座
住所：	東京都品川区旗の台 1-5-8
	氏名：押野見 和彦
	電話番号：03-3784-8560